

4. 安全と安心が確保される潤いのあるまちづくり

(1) 防犯・交通安全の推進
高齢者や子ども達も、犯罪や交通事故に巻き込まれないよう、PTAや町内会および関係機関との連携により、町民一人ひとりの危機意識を高めてまいります。

また、地域住民の安全、安心を守る防犯街路灯のLED化を促進し、町内会等の維持管理の軽減と地球温暖化対策の推進を図ってまいります。

さらに、消費者トラブルが複雑で高度化している中、広域化による消費生活相談体制の充実を図るとともに、消費者教育・啓発の充実にも努めてまいります。

(2) 消防・救急と防災

近年集中豪雨による水害が全国各地で発生しており、当町においても遊楽部川等の氾濫も考慮し、消防力の強化に向けて水害救助用ゴムボート等の整備に努めてまいります。

消防団員が各種災害に的確に対処できるよう、作業用ヘルメットの更新や安全装備品

を整備し、福利厚生にも努め、消防団員の加入促進を図ってまいります。

救急については、救命士の気管挿管等の資格認定者を養成、AED救急講習会も積極的に開催し、救命率の向上に努めてまいります。

火災予防については、防火講習会や避難訓練、ひとり暮らし高齢者世帯の防火訪問等、防火意識の高揚に努めてまいります。

災害時の迅速な情報伝達のため、八雲地域では平成27年度に防災行政無線が整備されました。平成28年度は熊石地域で防災行政無線のデジタル化へ移行する統制局(親局)と屋外拡声子局の更新整備を行ってまいります。両地域とも、その運用について関係機関や町内会等と連携を図ってまいります。

(3) 循環型社会の推進

ごみを資源として活用する「ゴミゼロ社会」の実現は、究極的目標ではありませんが、当町としても目指すべき目標としております。このため、ごみの減量化および資源化に向けての取り組みおよび事業化を進めてまいります。ゴミゼロを目指すためには、町民

皆さまのご協力が無ければ進めることはできませんので、今後も引き続き理解を深めていただきますよう啓発に努めてまいります。

また、「八雲町一般廃棄物最終処分場」につきましては、ごみの減量化や有価物回収等と施設の軽微変更により平成38年以降まで延命可能となりますが、将来を見据え、新たな最終処分場の建設に向け、用地確保に着手してまいります。

(4) 上水道・下水道の整備

水道事業は、安心安全な水道水を安定供給するため、各施設や配水管等の更新整備を行います。また、落部簡水では老朽管布設替工事(総延長1,242m国道及びJR横断含む)、野田生簡水では、浄水場や配水池に設置の電気計装設備について更新いたします。さらに、平成29年度に予定している上水道事業との統合による公営企業会計化に向けた作業にも取り組んでまいります。

熊石簡水は、浄水場施設整備工事を引き続き行うこととしております。

熊石地区下水道事業の管渠整備については、人口動態等

を考慮し計画の見直しを含め適正な施設整備に努めてまいります。

八雲下水処理施設については、長寿命化計画により本年度は水処理施設の電気設備の更新を行ってまいります。下水道整備区域外につきましては、合併浄化槽による水洗化の推進を図ってまいります。

また、下水汚水・し尿・浄化槽汚泥の処理一元化を行うための、汚水処理施設共同整備事業(ミックス事業)については、事業実施に向けて国及び道との協議を進めてまいります。

(5) 環境美化の推進と公園・緑地の充実

年間67万人を集める道立噴火湾パラマパークにつきましては、美しさ・楽しさ・安全を三本柱に、さらに多くの皆様に愛されるよう、管理運営に努めてまいります。

町内各公園につきましても、町内会等の協力を得ながら、子どもたちがいつでも安全に遊べるよう、適正な維持管理に努めてまいります。

5. 健やかに充実して暮らせるまちづくり

(1) 保健・医療の充実

「八雲町健康増進計画」に基づき、生涯を通じた健康づくりを重視し、健康分野ごとの目標達成に向け、関係機関と連携を図り、地域ぐるみの健康づくりを推進してまいります。

町民一人ひとりが、疾病の早期発見・早期治療、生活習慣の改善と生活習慣病の予防に取り組み意識を高めるため、町民ドックや住民健診をはじめ、各種がん検診、特定保健指導、健康づくり教室等、各種保健事業を通じて、健康づくりに関する知識の普及啓発に努めてまいります。

特に、大腸がん・子宮頸がん・乳がんの検診については、一定年齢の対象者に無料クーポン券の配布を行ってまいります。さらに、子宮頸がん・乳がんの検診については、従来までの集団検診に加えて、がん検診受診希望者の利便性の向上のため個別検診の実施を予定し、受診率の向上を図ってまいります。